

植物ホルモンの不思議

瀧本 浩一

私たちの身近にある植物たち。小学校の環境体験学習では動物は「動くもの」、植物は「植えるもの」と教えています。植物は歩くことも喋ることもできませんが、実は独自の「化学物質」を使って、驚くほど巧みに生きるためのコントロールをしています。その司令塔となっているのが「植物ホルモン」です。私たちの暮らしや四季を彩る、植物ホルモンの不思議で面白いエピソードをいくつかご紹介します。

1. 稲作の大ピンチから見つかった「背が高くなる」魔法

まずは、日本人の大発見から始まったお話です。イネの背丈がヒョロヒョロと異常に伸びて倒れてしまい、お米が実らなくなる「馬鹿苗病 (ばかなえびょう)」という病気があります。農家を困らせていたこの病気の原因を 1926 年 台湾総督府農事試験場の技師・黒沢英一が発見しました。何とカビの一種が植物を巨大化させる物質を作っていたのです。その後、藪田貞治郎と住木諭介が結晶化と構造決定をしました。こうして発見されたのが「ジベレリン」という植物ホルモンです。病気の原因としては厄介者でしたが、「植物の細胞を縦にぐんぐん伸ばす」というこの不思議なパワーは、のちに農業を大きく変えることになります。

2. 種無しブドウは「ジベレリン」のおかげ！

本来、ブドウの実はタネができることで「実を大きく育てよう！」というスイッチが入ります。しかし、まだ花のつぼみの段階でジベレリンの液にドボンと浸してあげると、植物は「おっ、タネができたぞ」と勘違いをして、タネがないまま実を大きく育て始めます。さらに、実が成長する頃にもう一度ジベレリンに浸すことで、粒がさらに大きく育ちます。私たちがシャインマスカットやピオーネのような美味しい種無しブドウを食べられるのは、この植物ホルモンの仕組み「魔法」のおかげなのです。

3. サクラの開花をコントロールする「ブレーキとアクセル」

春になると一斉に咲き誇るサクラ。ここにも植物ホルモンの見事なリレーが存在します。夏の終わり、サクラはすでに翌年の春に咲くための「花の芽 (花芽)」を作っています。しかし、秋にそのまま咲いてしまったら、タネも作れないし、寒い冬を越せませんよね。そこで登場するのが、成長にブレーキをかける「アブシジン酸 (アブシシン酸)」という植物ホルモンです。この研究にも日本人が深く関わっています。アブシジン酸は花芽を「おやすみなさい」と深い眠り (休眠) につかせ、冬の寒さから守ります。その後、冬の厳しい寒さにしっかりと当たると、サクラは「もう十分冬を耐えたぞ」と目を覚まします (休眠打破)。すると今度はブレーキ (アブシジン酸) が外れ、代わりにアクセル役の「ジベレリン」などが一気に働き出します。春の暖かさに乗じて花芽が急速に生長し、あの美しい開花を迎えるのです。



4. 桜の枝の伸び方にも関係

このジベレリン、実はサクラの「枝の伸び方」にも深く関わっています。たとえばソメイヨシノの大病である「天狗巢病 (てんぐすびょう)」は、カビがジベレリンを勝手に大量に作り出すことで、枝がホウキのように異常に混み合っただけで伸びてしまう病気です。その一方で、こんな面白い話もあります。枝が下へ下へとダラリと垂れ下がるのに、このジベレリンをシュッと吹きかけてやると、なんと重力に逆らうように枝が上を向いて「シャン」とするのです。だらしなく垂れていたシダレザクラ枝が、ホルモンの力で背筋を伸ばすように立ち上がる姿は、植物の体をコントロールする力の凄さを改めて教えてくれます。

シダレザクラではなく、シダレヤナギくらいなら試してみたいですね。

P1	序文：植物ホルモンの不思議
P2	2026 年 7 月度活動実績表
P2～5	活動報告：桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森
P5～6	お知らせ・案内：運営委員会報告、廃線敷草刈のご案内、ヤマザクラ実生苗の提供
P6～7	櫻守ひろば：活動地の園路紹介（6）青葉台の眺望、ヒオウギ（檜扇）と祇園祭
P8	活動予定表

< 2026 年 7 月度 活動実績表 >

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
6 月 24 日 (水)	青葉台 11 名	曇り 後 雨	(青葉台口～陽光広場) 笹、草刈り	3
			(陽光広場～北逆瀬台口) 園路脇ネズミサシの剪定、蔓類の整備、枯れ松伐採	3
			(光が丘路、光が丘口行者山登山路) コナラ倒木処理、ヒコバエ伐採、下枝伐採等	3
			(陽光展望台用階段) 腐食した階段横木の更新	2
6 月 27 日 (土)	ぶらざこむ1 7 名	-	会報印刷/運営委員会	7
6 月 28 日 (日)	桜の園・亦楽山荘 10 名	曇り	(内周路、桜の尾根) 台風通過後の園路点検整備、植樹桜周辺の間伐	7
			(外周路)遠見倉庫～赤松植樹地～赤松道の園路点検、樹名板確認と追加	3
7 月 2 日 (木)	ゆずり葉の森 9 名	曇り 後 晴れ	(西山堰堤路両脇) 枯れ木、倒木の処理、アラカシ等常緑樹の間伐	5
			(白瀬川広場～西山堰堤間園路とその周辺) 草刈り	3
			(西山堰堤北側路、十字路) 園路山裾側に土砂止め板設置	1
7 月 5 日 (日)	武庫山の森 10 名	曇り 後 雨	(入口付近、育苗地広場) 刈払機と手作業での草刈り	7
			(東広場) 刈払機を使った草刈り	2
			(入口、光ガ丘口) 案内板の交換	1
7 月 14 日 (火)	山手台 15 名	晴れ	(里山こみち) 園路周囲の灌木伐採、茂った木の間伐	4
			(噴水広場周辺) 枯れ木伐採、園路・広場に張り出した枝の間伐、道具の手入れ	6
			(北斜面桜植樹地) 草刈り、桜周りの草引き	5
7 月 16 日 (木)	桜の園・亦楽山荘 14 名	晴れ	(内周路)桜坂中段園路に階段追加(9 段)	5
			(桜坂) 桜植樹準備(開削 4 か所)	5
			(外周路) 樹名板確認と追加	2
			(廃線敷) アオキ等常緑樹の間伐	2
延べ参加人数				76

< 活 動 報 告 >

桜の園 (亦楽山荘)

6/28(日) 7 号 8 号のダブル台風が、夜半には関西から東方へ通過しましたが、朝方から小雨の残る一日でした。参加者も 10 名のため、作業予定を変更し、班体制も 2 班に縮小しました。台風通過後の園路パトロールも兼ねて、1 班は、内周路の枯木・倒木処理等の園路整備、2 班は、外周路の遠見倉庫から赤松植樹地間および赤松道の、樹名板確認と追加作業を行いました。また、台風による大きな被害は、見受けられませんでした。早めの 14 時に終礼・解散しました。



内周路点検整備 1



内周路点検整備 2



内周路点検整備 3

7/16(木) 梅雨明けの猛暑日でしたが、適度な水分補給や休憩に留意し、安全に作業を実施しました。1 班は、内周路の桜坂中段付近で、階段を追加（9 段）し、段差が低くなり、非常に歩き易くなりました。2 班も桜坂中段付近で、ヤマザクラ移植用の場所の選定と基礎部分の開削（0.5m×1m 4 か所）を実施しました。3 班は、滝道～ササラ沢～つつじが丘展望所間の樹名板確認と追加作業を行いました。4 班は、廃線敷川側斜面に繁茂する、アオキ等の常緑樹間伐を実施し、視界の改善を図りました。夏季のため、13 時に各班作業を終了し、13 時 30 分終礼・解散しました。（浅田 記）



桜坂中段 階段追加 1



桜坂中段 階段追加 2



桜坂中段 桜移植用開削

青葉台

6/24 (水) 天気予報では昼前頃から雨とのことで、午前中だけでもと 11 名の会員の参加が得られ、4 班で作業を行いました。1 班は光が丘路入口付近の中径コナラ倒木 2 本を玉切りし静置した後、ルート中間部でアオハダ多数株立のヒコバエの伐採とソヨゴ高木横枝 2 本を高枝伐りで伐採、更に光が丘口から続く緩やかな登山路の途中で幹折れ中径枯れ松を根元で伐採処理しましたが掛かり木となった幹部の処理は次回送りとしました。1 班は青葉台口～小林堰堤間の登山路両脇と陽光広場の草刈りを、1 班は陽光広場～北逆瀬台口の園路脇の中径枯れ松 3 本伐採と湧水路手前の園路にはみ出した蔓類を刈り取り通路周辺をスッキリさせました。残り 1 班は陽光展望台横の木製階段の補修を行いました。午後 1 時頃から雨が強くなって来ましたので、作業は止めました。（加賀野 記）



北逆瀬台口登山路脇
中径枯れ松伐採



陽光展望台裾斜面の草刈



陽光展望台への階段の
木製横木、杭の更新

ゆずり葉の森

7/2 (木) 7～9 月は猛暑対策として午前中の作業です。天候がハッキリせず参加者は 9 名と少なく 3 班で集合場所の白瀬川広場から北方向に伸びた西山堰堤路とその周辺で作業しました。① 1 班は堰堤路両脇の枯れ木、倒木の処理及びアラカシ等常緑樹の間伐を行いました。② 1 班は園路中央部の草刈りに注力しましたが目標とした面積の半分強に止まりました。③ 1 班は堰堤北上側の東西を繋ぐ園路の山裾側に土砂止め板を設置しました。
(加賀野 記)



西山堰堤路脇部の
枯れ細多数株立木を伐採



西山堰堤路中央部の草刈



西山堰堤北上側の東西連絡路
山裾側に土砂止め板設置

山手台

7/14(火) まだ猛暑日にはなっていないとはいえ、梅雨明けと同時に猛烈な暑さになってきました。なるべく木陰での作業を計画しましたが、北斜面桜植樹地での草刈りは日差しを遮るところもない炎天下の作業となり担当された方にはつらい思いをさせていただきました。他の作業場所は、里山こみちの園路周囲の灌木伐採、噴水広場周囲の枯れ木の伐採および繁茂して広場等に張り出している樹木の大枝の間引きを実施しました。集合広場では、剪定ばさみや刈込ばさみや鎌などの道具の手入れもしました。
しばらくの間は炎天が続きますので、作業場所の選定とか、場合によっては時間の短縮も検討しながら進めていきたいと思います。
(岡 記)



噴水広場周囲；園路に
張り出した大枝の伐採



北斜面桜植樹地；炎天下での
草刈り



里山こみち；園路周囲の
灌木伐採

武庫山の森

7/5 (日) 6 月の作業が 2 回とも雨で中止となり、更に今回も昼前に雨が降り出す天気予報がでており、朝礼を 15 分早めて作業に入りしました。育苗地広場と入口付近と桜移植地と北側交差点付近を刈払機と手刈りで草刈りをしました。東広場は刈払機を使った草刈りしております。入口に掲示している案内板が経年劣化をしていたので入口と光ガ丘口の半分を交換しました。予想以上に雨の降りだしが早く 10 時 30 分には作業を終えて解散しました。
(横山 記)



育苗地広場の草刈り



北側交差点の草刈り



入口案内板の交換

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告 (2026 年 6 月度)

代表 清水 厚真

2026 年 6 月 27 日 (土) 9:30~11:50 ふらざこむ 1

1. 活動地トピックス

- ・各活動地共通・・・夏季の期間 (7 月、8 月、9 月) は熱中症対策として、当日の気温を考慮した時間短縮 (作業は概ね 12 時まで) とする。朝礼時の安全確認として、体調は大丈夫か確認、装備の安全を確認、長時間の日向作業は避ける、クマ対策として (単独行動禁止、音の出る物の携行など)、等の対策の実行を確認した。
- ・武庫山の森・・・6 月は降雨で活動中止が 2 回連続した。7 月 5 日に草刈りを予定し、広場上下段の草刈り等を予定通り実施できた。
- ・山手台・・・古墳広場付近のヒラドツツジの剪定を活動日に実施できず、後日有志で実施した。

2. 運営委員の業務分担と活動地幹事 (敬称略)

1) 2026 年度運営委員及び会計監査役・・・総会結果の再掲

- ・運営委員 7 名 (緒方直紀、神野徳子、近藤茂、佐々木宏二、清水厚真、瀧本浩一、横山伸寛)
- 会計監査役 (加賀野久生)
- ・代表 (清水)、副代表 (瀧本)、会計 (神野) は留任とする。

2) 2026 年度活動地幹事 ※先頭の氏名の方が代表幹事です

桜の園 (亦楽山荘)	坂田、浅田、加賀野、清水、瀧本	・・・桜の園当番幹事は輪番制
山手台	岡、大形、近藤秀幸、瀧本、平松、山岡	
ゆずり葉の森	加賀野、浅田、近藤茂、坂田、長谷川	
青葉台	加賀野、近藤茂、坂田、長谷川、山岡	
武庫山の森	横山、緒方、佐々木宏二、本多、山下宏明	

3) 会員関係の業務担当

- ・用具担当 新入会員及び会員への道具・部品提供・・・緒方
- ・保険関係 スポーツ安全保険&行事保険 (加入申し込み&事故対応)・・・瀧本

4) 今後の行事予定

- ・研修会等 自然観察会 (10/11)・・・岡、山下康 ・新人技能研修会 (10/4)・・・清水
- ・環境体験学習支援 逆瀬台小 (11/13)・・・瀧本、神野 ・芋煮会 (11/5)・・・神野

3. その他

- ・会報の序文について

会員数の減少等により、執筆者の確保に苦慮している。会報は、会員相互の交流の場であり、序文は形式に囚われず、自由な内容で会員に書いてもらうのが相応しいとの一致した意見だった。新人やベテランを問わず、複数回でも執筆者を開拓しますので、会員の皆さんの積極的な投稿をお願いしたい。

廃線敷草刈のご案内

運営委員会

本年度2回目の廃線敷草刈を、下記日程で行います。毎回同様に、4班体制で8台の刈払い機を使い、現地の作業終了は12時頃を想定しています。今年度から、桜の園活動日として充当していますが、従前と変わらない方法で行います。猛暑・酷暑が予想されます、体調の確認や水分・塩分の準備など熱中症対策のうえで、多数のご参加をお願い致します。

日時：2026年8月6日（木） 9:50 親水広場（通常活動と同様の集合場所と朝礼時刻）

なお、天候による作業の可否判断は、通常活動と同じです。中止の予備日は8月13日（木）です。

桜坂のヤマザクラ実生苗を育てられている方ご連絡ください

運営委員会

2027年1～2月に桜坂と桜の尾根に実生ヤマザクラ移植を計画しています。7月活動日から植樹候補地の準備を進めています。斜面で土留めは必要ですが、土質は腐葉土ありでマズマズのようです。ご自宅でヤマザクラ実生苗を育てられている方は、本数を瀧本にご連絡ください。kocchan.takimoto@gmail.com

< 櫻 守 ひ ろ ば >

活動地の園路紹介（6） 青葉台の眺望

緒方 直紀

青葉台の園路は陽光広場から光が丘口へのルート、北逆瀬台口やゆずり葉の森へのルートの二つの水平の園路。あとは北逆瀬台口近くからと青葉台口から行者山東観峰への二つの登山道です。

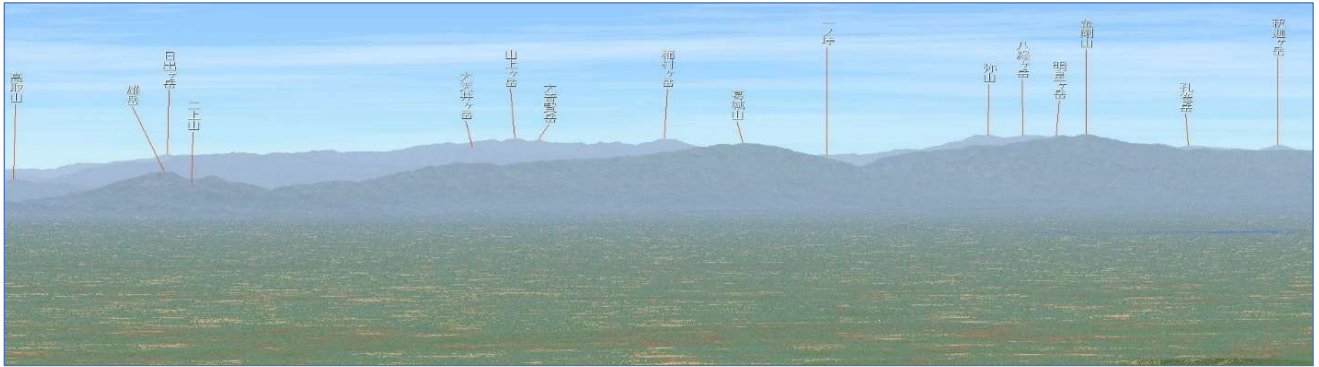
櫻守の会のホームページで青葉台は「陽光広場から大阪湾、奈良、和歌山が一望でき、素晴らしい景色を楽しむことができます」と紹介されています。しかし、桜やその他の木々も成長し、活動地からの眺望が少ない状況です。

眺望のお勧めは逆瀬台小学校横から行者山に登るルートです。上部で青葉台口から支多々川の支流沿いに登るルートと合流します。



北逆瀬台口・行者山ルート途中からの眺望

このコースはわずか20～30m標高が上ると一気に眺望が開け、眼下に宝塚市のタワーマンション、千理中央の高層ビル、そして大阪空港の滑走路、手前に阪神競馬場が眺められ、その先に梅田から天王寺、弁天町のビル群などが眺められます。さらに後方、東に生駒山、あべのハルカスの左の二つの峰の二上山、銀色に光る大阪ドーム右手の弁天町の高層ビルの上に葛城山、右が最高峰の金剛山。続く和泉山脈 手前の大阪湾の関西空港などの眺望が開け、のんびりと休憩したくなる場所です。ここで、葛城山や金剛山がきれいに見えたら目を凝らしてその先を見つめて下さい。二上山の上に見えるのは大台ヶ原山、葛城山の左には大峯山寺の山上ヶ岳、金剛山の左にはなんと近畿の最高峰、八経ヶ岳（1915m）や弥山が見えます。このルートが櫻守の会の活動地最高の眺望で、山好きにはたまらない絶景です。さらに足を進め、合流部からは眺望のない樹林帯の中、枯れ松の多さにあきれながら視界が開けると東観峰テラス、甲山の山頂越しに芦屋や神戸方面も眺められます。東観峰からはじっくりと大阪北部から和歌山の眺め、大峰山系の眺めを堪能出来ます。帰りは青葉台口に下山、ロープにつかまりながらの急下降、足元に気を付けて下りましょう。陽光広場からも木々の間に同様の眺望も楽しめますよ。空気が澄んだ活動日やハイキングで行者山東観峰方面まで登ることが有れば、ゆっくり山座同定してみるのも面白いルートですよ。



逆瀬台小学校の上からの眺望「青葉台から八経ヶ岳が見える」(登山アプリ「カシミール 3D」で作成)

ヒオウギ（檜扇）と祇園祭

瀧本 浩一

ヒオウギ（檜扇）は日本（北海道を除く）や東アジア原産の植物（アヤメ科アヤメ属）で、葉が重なり合っ
て広がる姿が平安貴族の木製扇「檜扇」に似ていることが名前の由来だそうです。

京都の祇園祭では「魔除け・厄除け」の祭花として欠かせない存在であり、7月になると町家や店先に一
斉に飾られます。私も「訪問詐欺避け」に自宅の玄関に鉢を置いています。

ヒオウギ（檜扇）の花は一日花（朝開いて夕方にはしぼむ）ですが、蕾が次々に開花します。生け花には
全く知識がありませんが、生け方には高度な技術が必要とされ、1 日しか咲かないオレンジ色の花よりも、
青々と力強く広がる「葉」の美しさと涼感を主役として魅せることがポイントのようです。

ヒオウギ（檜扇）が花を咲かせるための葉の枚数は、株の充実度（花芽分化のタイミング）を見る上でと
ても面白い目安になります。花卉農家の叔母によると花芽（はなめ）が作られ始めるタイミングで「外見上
の葉の数が 13～15 枚ほど」に育っていることが一つの目安になります。その後、実際に夏の開花を迎える
頃には、主軸の葉や枝分かれした部分も含めて全体で 20 枚～26 枚前後まで葉が増えていきます。

種は「ぬばたま（射干玉）」と呼ばれる黒く丸い種子。真っ黒で光沢があることから、和歌では「黒」「夜」
「闇」「髪」などにかかる「枕詞（まくらことば）」とのことです。実生（ぬばたま）から育てている若い株
の場合、1 年目は葉の枚数が数枚～10 枚程度にとどまることが多く、エネルギーが足りないためまだ花は咲
きません。じっくり根と株を太らせ、葉の数が上記の目安（13 枚以上）に達する 2 年目～3 年目の夏によ
うやく最初のお花を拝むことができます。

よく似た花にクロコスミア（ヒメヒオウギスイセン アヤメ科 ヒメヒオウギ属）（アフリカ原産）があり
ます。生育旺盛で他の植物を駆逐する（球根で爆発的に増える）ので、一部地域（佐賀県など）では栽培
移動禁制種とのことです。スペイン巡
礼路にいっぱい咲いていましたが、巡
礼者も見向きもしません。青葉台で草
刈りしていたら、陽光展望台の斜面に
もそれらしき株がありましたが、暑く
て確認する気にもなりません。植生を乱す植物は安易に持ち込まない
ほうが良いですね。



夏バテのヒオウギ（檜扇）



ヒメヒオウギスイセン

＜ 活 動 予 定 表 ＞

月別行事予定表

8 月		場所等	9 月		場所等
8 月 2 日	日	武庫山の森	9 月 6 日	日	武庫山の森
8 月 6 日	木	桜の園（廃線敷草刈り）	9 月 10 日	木	ゆずり葉の森
8 月 11 日	火	ゆずり葉の森	9 月 15 日	火	山手台
8 月 13 日	木	廃線敷草刈り 予備日	9 月 17 日	木	桜の園
8 月 18 日	火	山手台	9 月 23 日	水	青葉台
8 月 26 日	水	青葉台	9 月 27 日	土	会報印刷/運営委員会
8 月 29 日	土	会報印刷/運営委員会	9 月 30 日	日	桜の園（亦楽山荘）
8 月 30 日	日	桜の園（亦楽山荘）			

夏場（7～9 月）期間は下記の活動とします。

武庫山の森：1 回/月（第 1 日曜日のみ）、桜の園：2 回/月とする。

廃線敷草刈りは、5 月、8 月、10 月の平日の活動日の 1 日を当てる。予備日を設定する。

集合時間：桜の園（亦楽山荘）親水広場 9 時 50 分、他の 4 活動地は 9 時 30 分。

天 候：当日朝 6 時 55 分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60% 以上の時は中止します。

【編集後記】2023 年に国連のグテーレス事務総長が発した「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」という言葉に象徴されるように、世界各地で記録的な熱波が常態化しています。日本でも酷暑日（気温 40℃以上）増加は避けられないようです。7/21(火) 気象庁発表の 8 月から 10 月までの 3 か月予報によると「8 月も東日本・西日本を中心に厳しい暑さが続くものの、9 月になると暑さは落ち着く見込みです。」少し安心しました。この夏を乗り切るため、命を守る対策をキッチリしましょう。（瀧本 記）